

個性豊かなふるさとづくり事業（なかがわ水遊園）^{すいゆうえん}

受賞機関 栃木県土木部建築課
栃木県大田原土木事務所

はじめに

関東随一の清流である那珂川をはじめとして、なだらかな山地や丘陵部の緑、あるいは田園風景など、那珂川沿川に広がる“親しみやすくおだやかで心和む”自然を生かして「水とのふれあい 自然との出会い 新たな発見を求めて」をテーマに、水と緑の「体感ゾーン」として、那珂川拠点地域の整備の一環としてなかがわ水遊園を整備した。

事業概要

事業名：個性豊かなふるさとづくり事業
（なかがわ水遊園）

事業期間：平成10年度～平成13年度

事業費：8,457百万円

事業の特徴

公園は那珂川に沿って約25haの広がりがあるが、園内には隣接する那珂川の水をふんだんに取り入れ、せせらぎの池・大池・釣り池や子供たちの遊び場となる水の広場などを配し、子供から大人までが楽しめる、周囲と一体となった公園づくりを目指した。

その中心施設として、見て・触れて・体験して楽しく学べる淡水魚の水族館を公園及び隣接する那珂川と一体的にデザインし建設した。

建物は、外壁に透明ガラスを積極的に用いることにより、展示室のすみずみまでふんだんに自然光を、また、周囲の美しい山並みや風景を内部に取り入れ



水遊園全景（清流那珂川と一体の水遊園）



おもしろ魚館

ている。その結果、自然のなかで魚を見ることができ、かつ、ガラスと大池の水さらに外観の持つイメージと相まって従来の閉ざされたもの

の異なり、新しいタイプの水族館となっている。

もう一つの特徴は、熱帯雨林のガラスドームがある。これは、4点支持のサッシュレスの「DPG工法」を採用したが、限られた工期のなかで完成させるために、施工方法の度重なる検討と、工期短縮のために上下同時施工等を実施し、ようやく完成にこぎつけた。

その結果、夏休み直前のオープンを可能にし、連日、多くの入園者が訪れ、所在地の村は言うに及ばず周辺の観光スポットの一つとなっている。

また、本工事は、公園全体及びその周辺部工事を大田原土木事務所が、水族館工事を建築課が担当した。途中、平成10年8月の「那須の大水害」に見舞われ、計画自体が危うくなった時期もあったが、協同で問題を1つずつ解決しながら事業を進めてきた。そして、「水のすごさ、あやうさ、すばらしさ」を担当者自らが改めて体験することができた、そのようななかから生まれた施設である。

受賞賛助会員 川田工業(株)、(株)間組



トンネル水槽（360°の視界）